

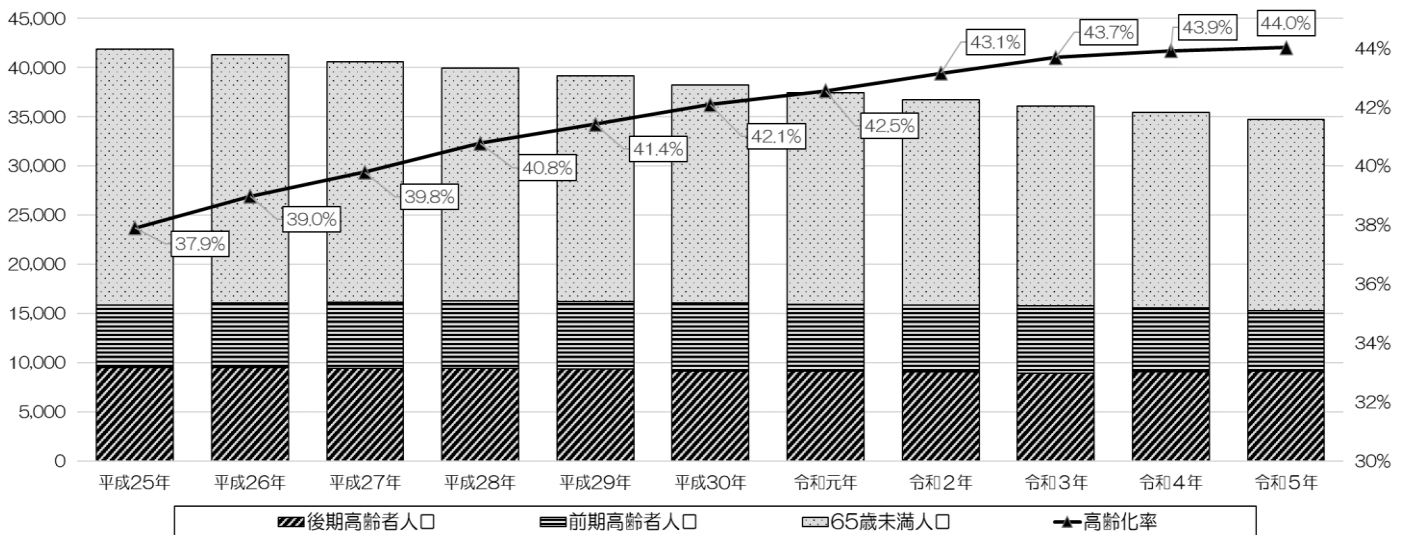
第2章 高齢者を取り巻く状況

1. 人口の推移と推計

(1) 人口の推移

本市の総人口は、平成25(2013)年からの10年間で約6,500人減少しています。高齢者人口は、平成28(2016)年をピークに減少傾向に転じていますが、同じ年に高齢化率は40%を超えており、高齢者人口が減少しながらも高齢化率は上昇傾向にあります。

総人口・高齢者人口の推移



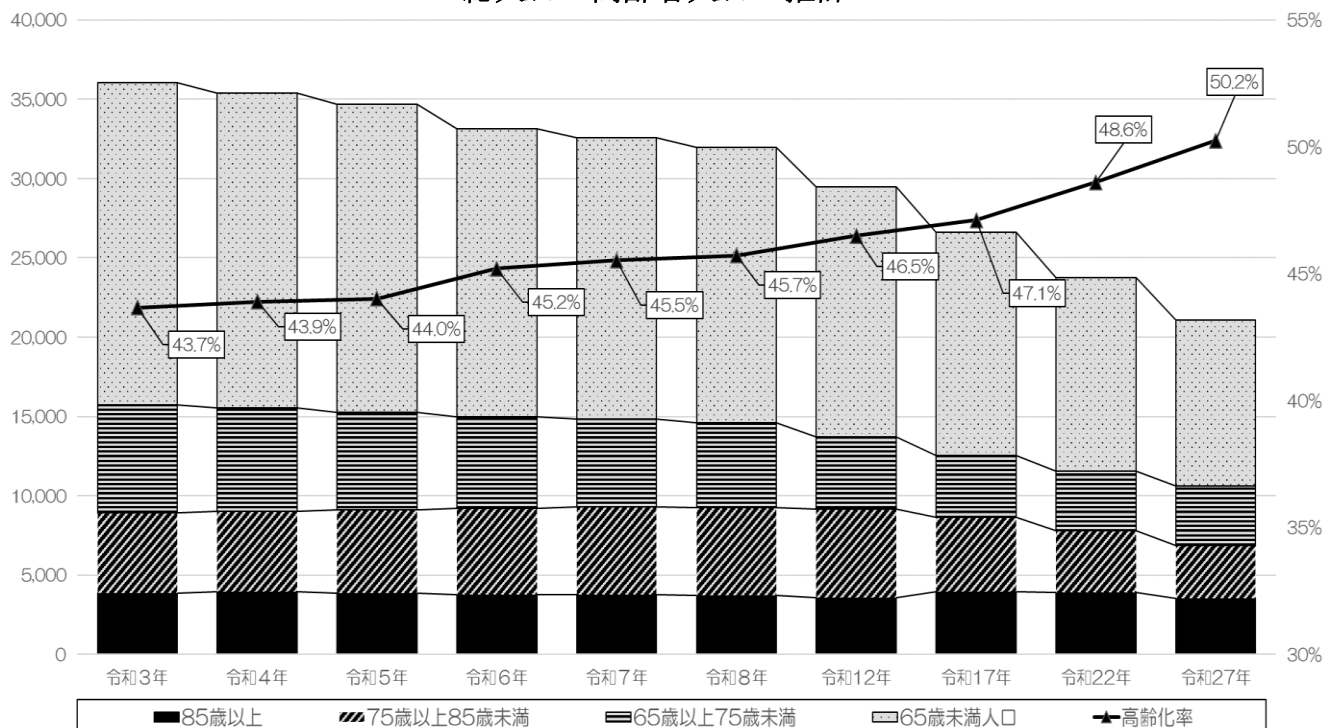
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
後期高齢者人口(人) ※75歳以上	9,507	9,471	9,435	9,405	9,311	9,144	9,105	9,058	8,909	9,018	9,111
前期高齢者人口(人) ※65歳以上75歳未満	6,362	6,619	6,704	6,855	6,883	6,930	6,824	6,785	6,841	6,523	6,154
高齢者人口(人) ※65歳以上	15,869	16,090	16,139	16,260	16,194	16,074	15,929	15,843	15,750	15,541	15,265
65歳未満人口(人)	26,011	25,197	24,417	23,632	22,912	22,132	21,513	20,884	20,315	19,857	19,411
総人口(人)	41,880	41,287	40,556	39,892	39,106	38,206	37,442	36,727	36,065	35,398	34,676
高齢化率 (高齢者人口/総人口)	37.9%	39.0%	39.8%	40.8%	41.4%	42.1%	42.5%	43.1%	43.7%	43.9%	44.0%

出典：住民基本台帳（各年10月1日時点）

(2) 人口の推計

本市の高齢者人口は、平成28(2016)年以降に減少傾向に転じている一方、総人口の減少から高齢化率は増加していくと見込まれます。また、要介護認定率が高くなる傾向にある後期高齢者のうち75歳以上85歳未満の人口は令和12(2030)年頃まで増加すると見込まれます。

総人口・高齢者人口の推計



	実績						推計			
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年
85歳以上(人)	3,855	3,929	3,863	3,754	3,766	3,724	3,554	3,972	3,925	3,510
75歳以上85歳未満(人)	5,054	5,089	5,248	5,450	5,520	5,541	5,623	4,668	3,859	3,345
65歳以上75歳未満(人)	6,841	6,523	6,154	5,773	5,541	5,340	4,538	3,898	3,772	3,737
高齢者人口(人) ※65歳以上	15,750	15,541	15,265	14,977	14,827	14,605	13,715	12,538	11,556	10,592
65歳未満人口	20,315	19,857	19,411	18,149	17,734	17,344	15,782	14,072	12,214	10,488
総人口(人)	36,065	35,398	34,676	33,126	32,561	31,949	29,497	26,610	23,770	21,080
高齢化率 (高齢者人口/総人口)	43.7%	43.9%	44.0%	45.2%	45.5%	45.7%	46.5%	47.1%	48.6%	50.2%

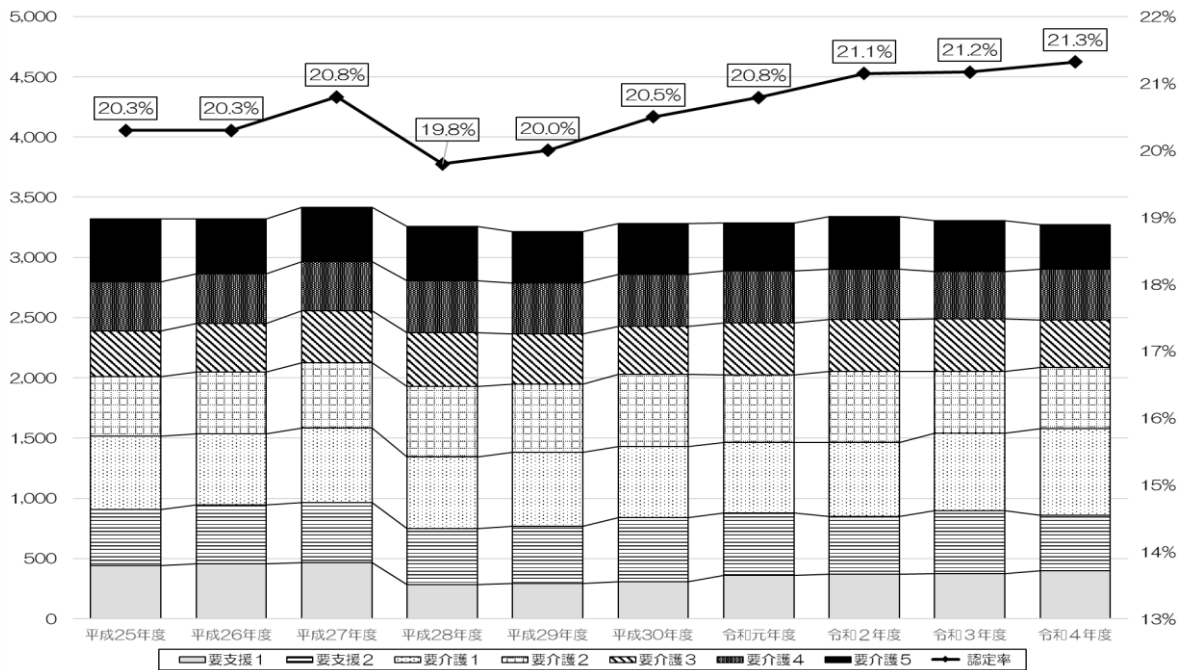
出典：実績は住民基本台帳（各年10月1日時点）、推計は厚生労働省「地域包括ケア見える化システム」から推計したもの

2. 要介護（支援）認定状況の推移と推計

(1) 認定者数の推移

本市の認定者数は、平成28(2016)年度に介護予防・日常生活支援総合事業へ移行した影響から認定者数及び認定率は減少しています。その後、認定者数は横ばいに推移し、認定率の上昇が続いています。

認定者数・認定率の推移（第1号被保険者のみ）



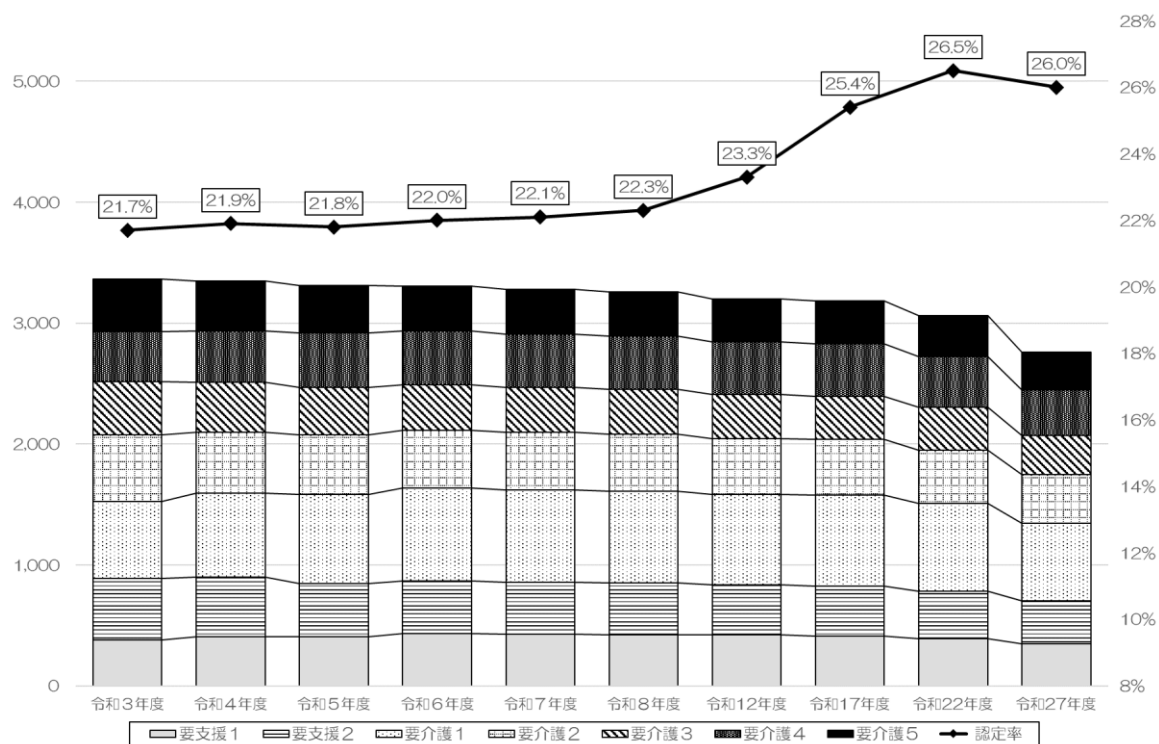
第1号被保険者	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
要支援1(人)	440	457	463	285	294	307	360	368	376	397
要支援2(人)	467	486	499	463	473	531	517	483	519	463
要介護1(人)	607	593	620	596	616	590	586	610	646	716
要介護2(人)	496	512	545	586	565	599	562	593	512	509
要介護3(人)	380	405	428	444	419	400	432	430	438	393
要介護4(人)	409	409	412	434	422	434	430	420	393	422
要介護5(人)	521	459	449	451	426	421	401	437	422	373
認定者数(人)	3,320	3,321	3,416	3,259	3,215	3,282	3,288	3,341	3,306	3,273
認定率	20.3%	20.3%	20.8%	19.8%	20.0%	20.5%	20.8%	21.1%	21.2%	21.3%

出典：介護保険事業状況報告（各年度末時点）

(2) 認定者数の推計

認定者数は、高齢者人口の減少による影響等から今後も減少していくものと見込みます。一方、要介護認定率が高くなる傾向にある後期高齢者の比率が増加していくことから、認定率は増加が続き、令和22(2040)年度には26.5%まで増加していくと見込んでいます。

認定者数・認定率の推計（第1号被保険者のみ）



第1号被保険者	実績			推計						
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度	令和17年度	令和22年度	令和27年度
要支援1(人)	379	404	404	430	427	424	420	410	389	347
要支援2(人)	511	496	442	437	430	427	418	413	395	354
要介護1(人)	636	694	736	771	762	757	743	757	722	645
要介護2(人)	549	502	494	477	476	474	464	457	444	402
要介護3(人)	442	415	394	376	372	369	365	357	353	323
要介護4(人)	410	421	446	445	443	440	433	432	417	376
要介護5(人)	436	418	393	368	368	369	357	357	344	312
認定者数(人)	3,363	3,350	3,309	3,304	3,278	3,260	3,200	3,183	3,064	2,759
認定率	21.7%	21.9%	21.8%	22.0%	22.1%	22.3%	23.3%	25.4%	26.5%	26.0%

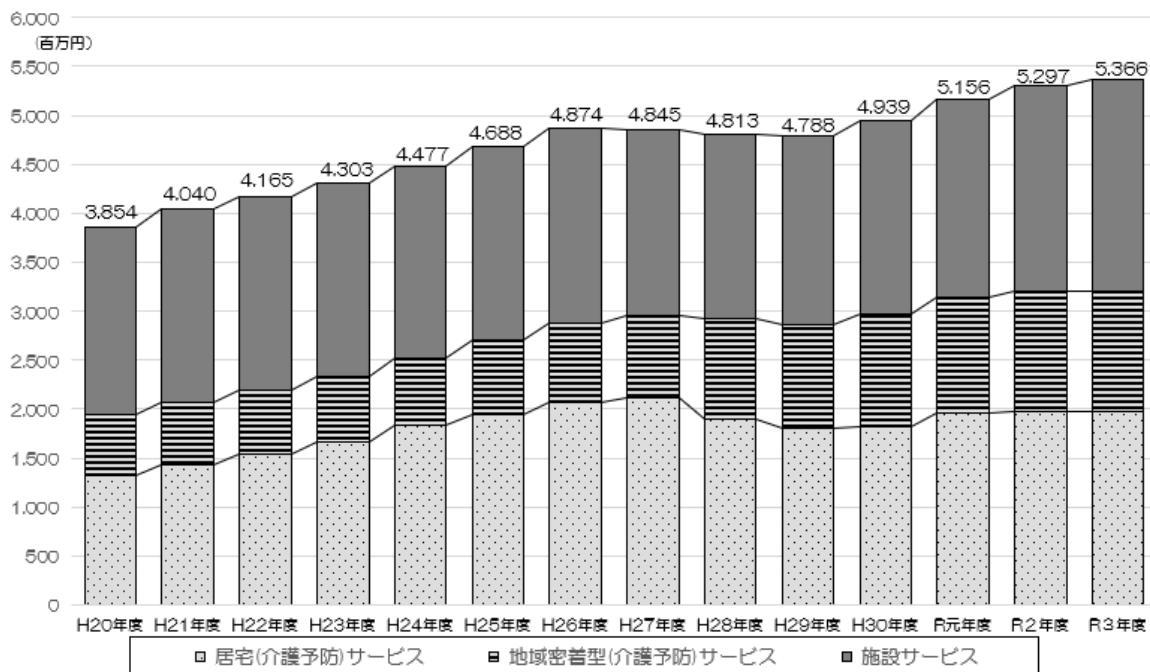
出典：実績は介護保険事業状況報告（各年度9月月報）、推計は厚生労働省「地域包括ケア見える化システム」から推計したもの

3. 介護給付費等の動向

令和3(2021)年度の介護給付費等は約54億となっており、平成20(2008)年度の39億円の約1.4倍に増加しています。

構成比をみると、居宅(介護予防)サービスは平成20(2008)年度の34.2%から、平成27(2015)年度に43.7%まで増加しましたが、平成28(2016)年度には介護予防・日常生活支援総合事業が開始したことから減少し、令和3(2021)年度には36.8%となっています。施設サービスは49.7%から40.2%へ減少し、地域密着型(介護予防)サービスは認知症対応型共同生活介護の整備が進んだことによって16.2%から23.0%に増加しています。

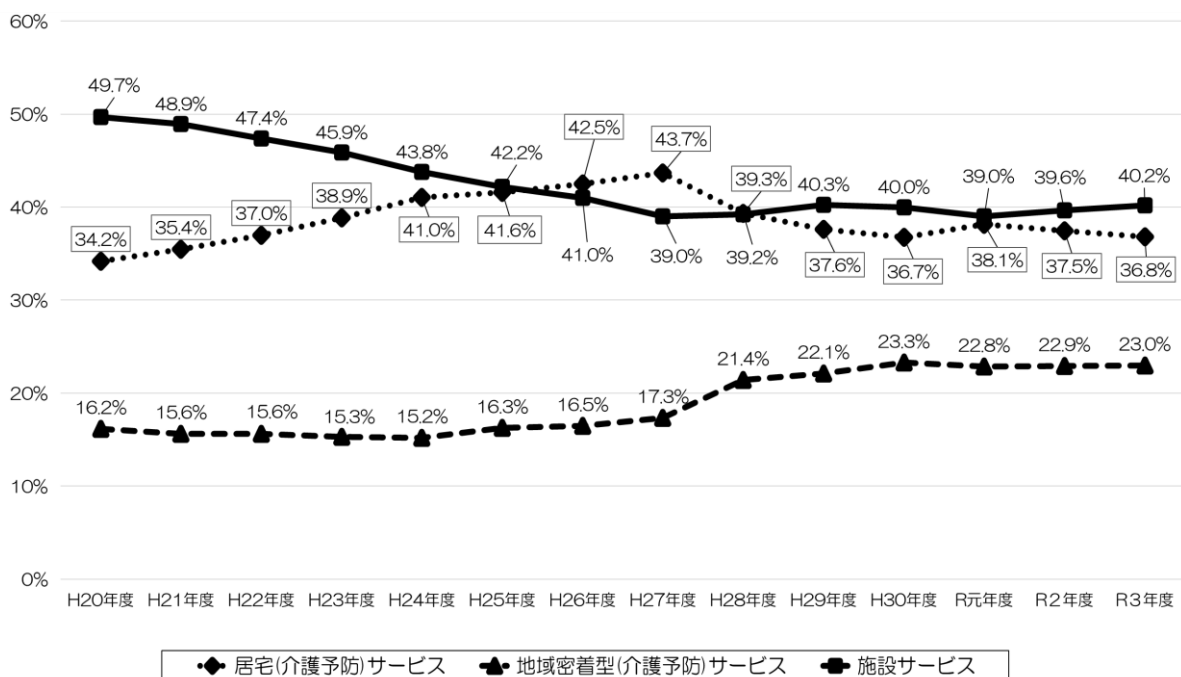
介護予防・介護給付費(年間)の推移



(単位: 百万円)							
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
居宅(介護予防)サービス	1,317	1,432	1,540	1,672	1,837	1,949	2,072
地域密着型(介護予防)サービス	623	632	651	658	681	762	803
施設サービス	1,914	1,976	1,974	1,973	1,959	1,977	1,999
合計	3,854	4,040	4,165	4,303	4,477	4,688	4,874
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
居宅(介護予防)サービス	2,116	1,893	1,801	1,815	1,966	1,984	1,976
地域密着型(介護予防)サービス	840	1,031	1,059	1,149	1,178	1,214	1,233
施設サービス	1,889	1,889	1,928	1,975	2,012	2,099	2,157
合計	4,845	4,813	4,788	4,939	5,156	5,297	5,366

出典：介護保険事業状況報告(年報)

介護予防・介護給付費（年間）に占める各サービスの構成比の推移



	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
居宅(介護予防)サービス	34.2%	35.4%	37.0%	38.9%	41.0%	41.6%	42.5%
地域密着型(介護予防)サービス	16.2%	15.6%	15.6%	15.3%	15.2%	16.3%	16.5%
施設サービス	49.7%	48.9%	47.4%	45.9%	43.8%	42.2%	41.0%
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
居宅(介護予防)サービス	43.7%	39.3%	37.6%	36.7%	38.1%	37.5%	36.8%
地域密着型(介護予防)サービス	17.3%	21.4%	22.1%	23.3%	22.8%	22.9%	23.0%
施設サービス	39.0%	39.2%	40.3%	40.0%	39.0%	39.6%	40.2%

出典：介護保険事業状況報告（年報）

4. アンケート調査結果の概要

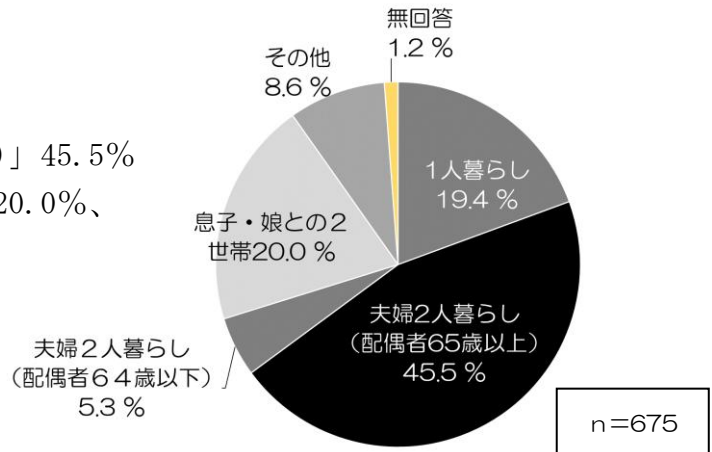
(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

① 家族について

【家族構成】

夫婦2人暮らしが約5割

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」45.5%
が最も高く、「息子・娘との2世帯」20.0%、
「1人暮らし」19.4%と続きます。



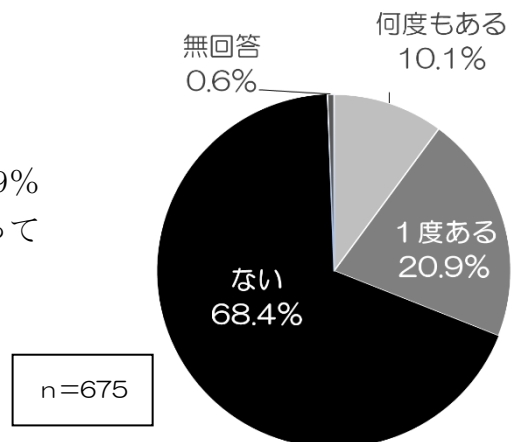
年齢層	回答数 (人)	選択肢/構成比 (%)					
		1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者 65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者 64歳以下)	息子・娘と の2世帯	その他	無回答
全体	675	19.4	45.5	5.3	20	8.6	1.2
65歳～69歳	146	15.8	34.2	15.1	19.2	13.7	2.1
70歳～74歳	219	13.2	54.8	4.1	18.3	8.7	0.9
75歳～79歳	127	26	48.8	1.6	14.2	7.9	1.6
80歳以上	183	25.1	41	1.6	26.8	4.9	0.5

② からだを動かすことについて

【過去1年間に転んだ経験】

過去1年に転んだ経験のある人は約3割

「何度もある」10.1%、「1度ある」20.9%
となっており、年齢があがるほど多くなって
います。

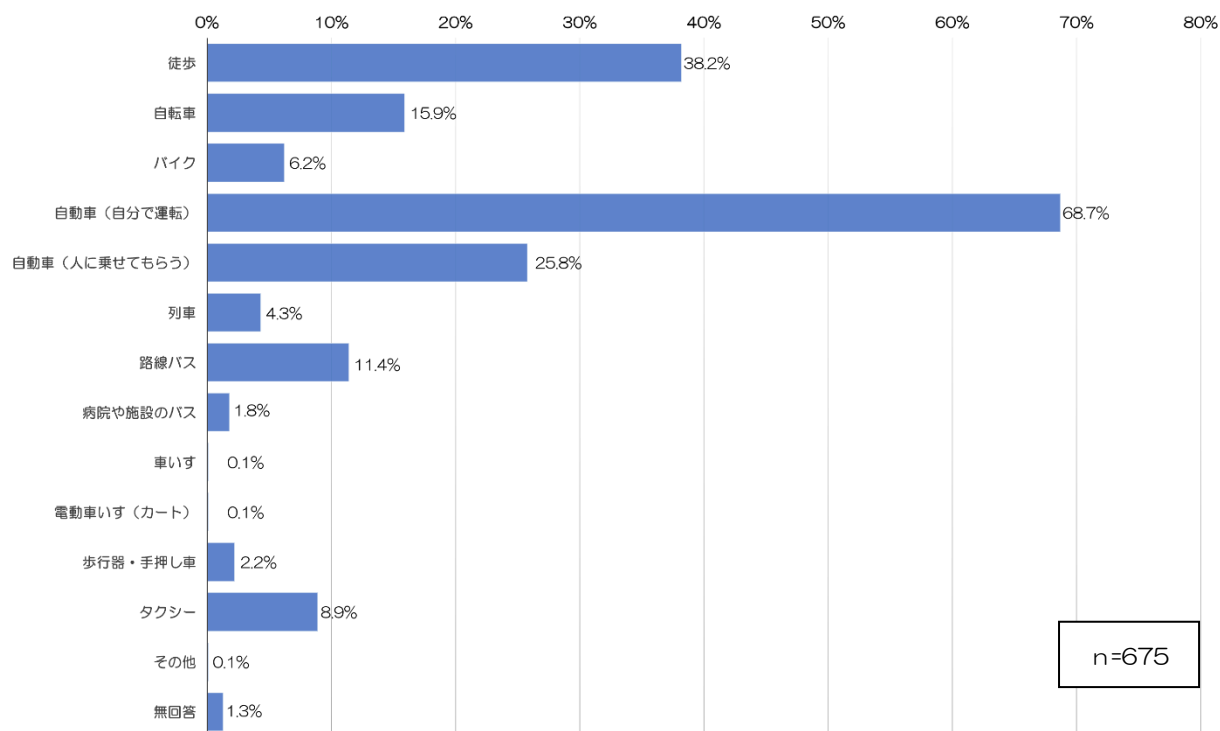


年齢層	回答数 (人)	選択肢/構成比 (%)			
		何度もある	1度ある	ない	無回答
全体	675	10.1	20.9	68.4	0.6
65歳～69歳	146	6.2	17.1	74.7	2.1
70歳～74歳	219	8.2	19.6	71.7	0.5
75歳～79歳	127	11.8	24.4	63.8	0
80歳以上	183	14.2	23	62.8	0

③ 毎日の生活について

【移動手段】

「自動車（自分で運転）」68.7%が最も高く、「徒歩」38.2%、「自動車（人に乗せてもらう）」25.8%と続きます。



80歳を超えても約4割の方が自動車の運転をしている

高齢になるにつれ自動車の運転をしている割合が減少するものの、それでも80歳以上の44.3%が自動車の運転をしていると回答しています。

年齢層	回答数（人）	選択肢／構成比 (%)													
		徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	列車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・手押し車	タクシー	その他	無回答
全体	675	38.2	15.9	6.2	68.7	25.8	4.3	11.4	1.8	0.1	0.1	2.2	8.9	0.1	1.3
65歳～69歳	146	41.8	11.6	6.8	87.0	17.8	4.8	6.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	0.7
70歳～74歳	219	37.0	19.2	10.5	76.7	22.8	5.0	7.3	0.9	0.5	0.0	0.0	5.0	0.0	0.5
75歳～79歳	127	40.2	22.8	1.6	69.3	24.4	3.9	17.3	0.8	0.0	0.0	3.1	11.0	0.0	0.8
80歳以上	183	35.5	10.4	3.8	44.3	36.6	3.3	16.4	4.9	0.0	0.5	6.0	16.9	0.5	3.3

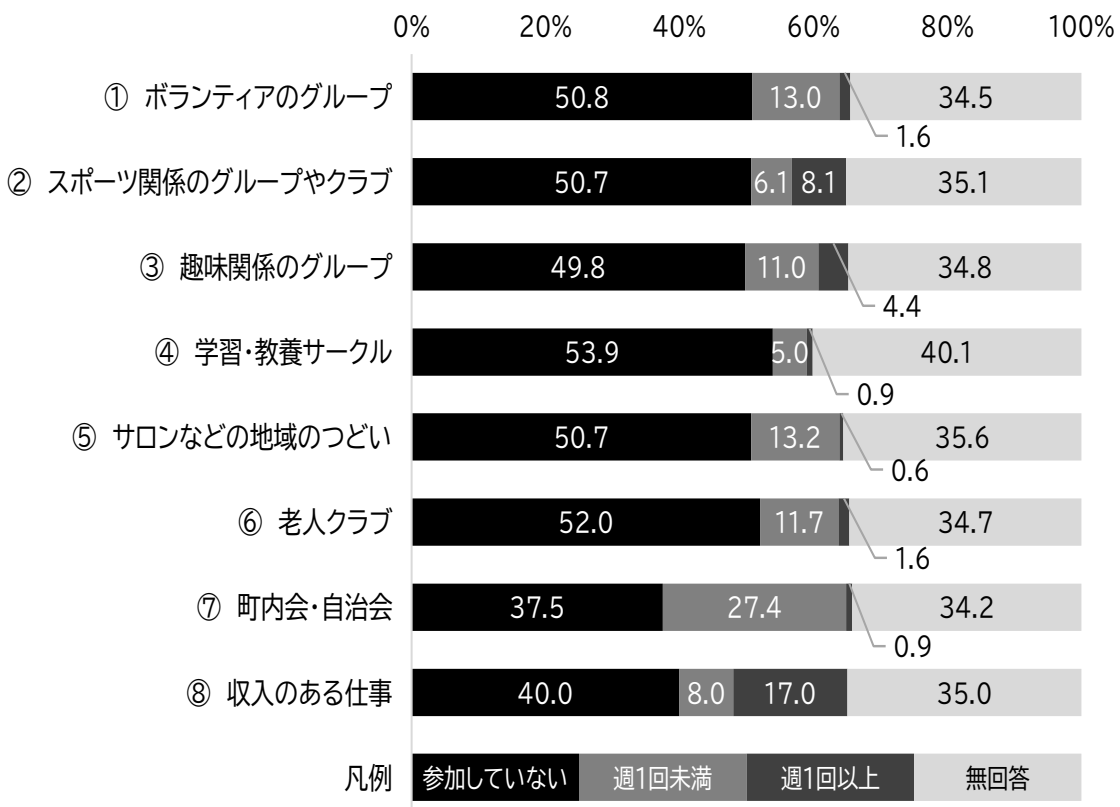
④ 地域での活動について

【地域活動への参加】

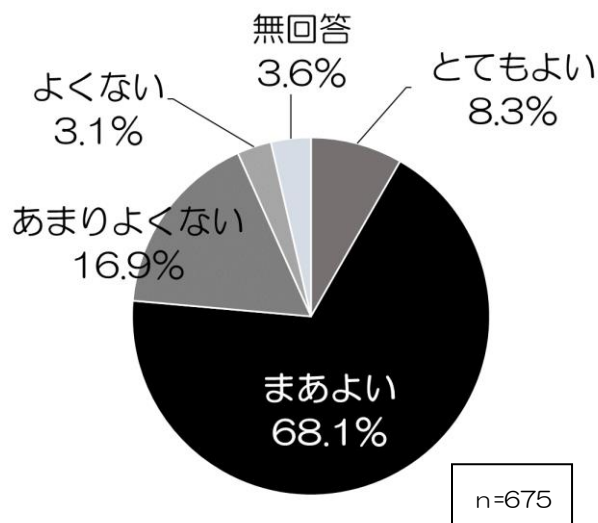
週1回以上で参加している割合が高い項目としては、「収入のある仕事」17.0%、「スポーツ関係のグループやクラブ」8.1%と続きます。

週1回未満で参加している割合が高い項目としては、「町内会」27.4%、「サロンなどの地域のつどい」13.2%、「ボランティアのグループ」13.0%と続きます。

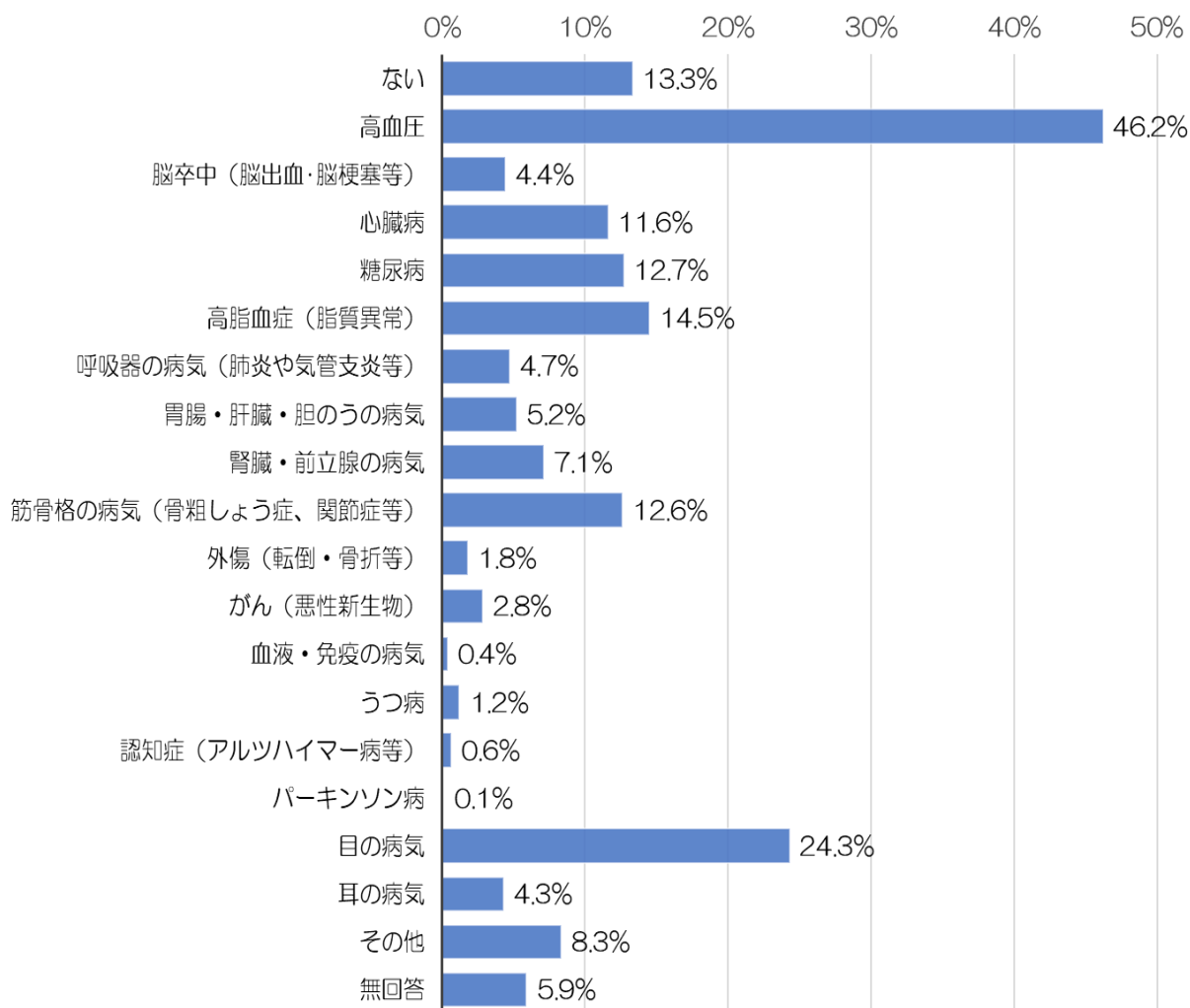
「ボランティアのグループ」、「スポーツ関係のグループやクラブ」、「趣味関係のグループ」、「学習・教養サークル」、「サロンなどの地域のつどい」、「老人クラブ」については、約半数が「参加していない」と回答しています。



⑤ 心と体の健康について
【健康状態について】
健康状態の良い人は約7割



【治療中の病気】
現在治療中の病気は高血圧が最も多い

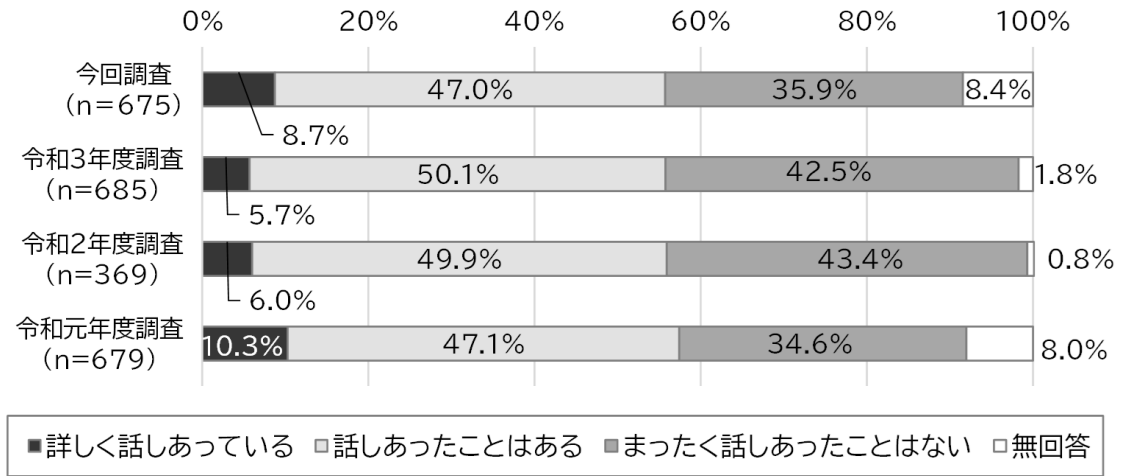


「その他」主な記述
・脊柱管狭窄症 ・リウマチ ・皮膚の病気 ・シェーグレン症候群 など

⑥ 介護保険事業や高齢者福祉について

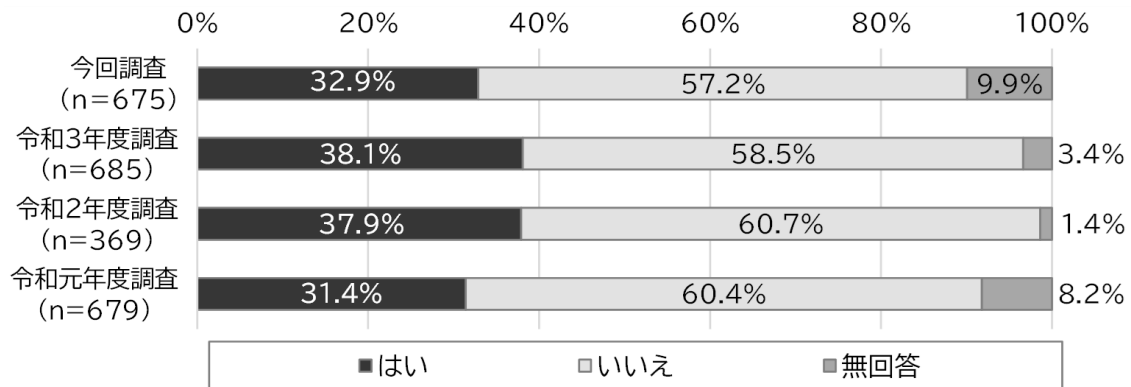
【終末期医療について】

終末期の医療について話し合ったことがある割合は約6割



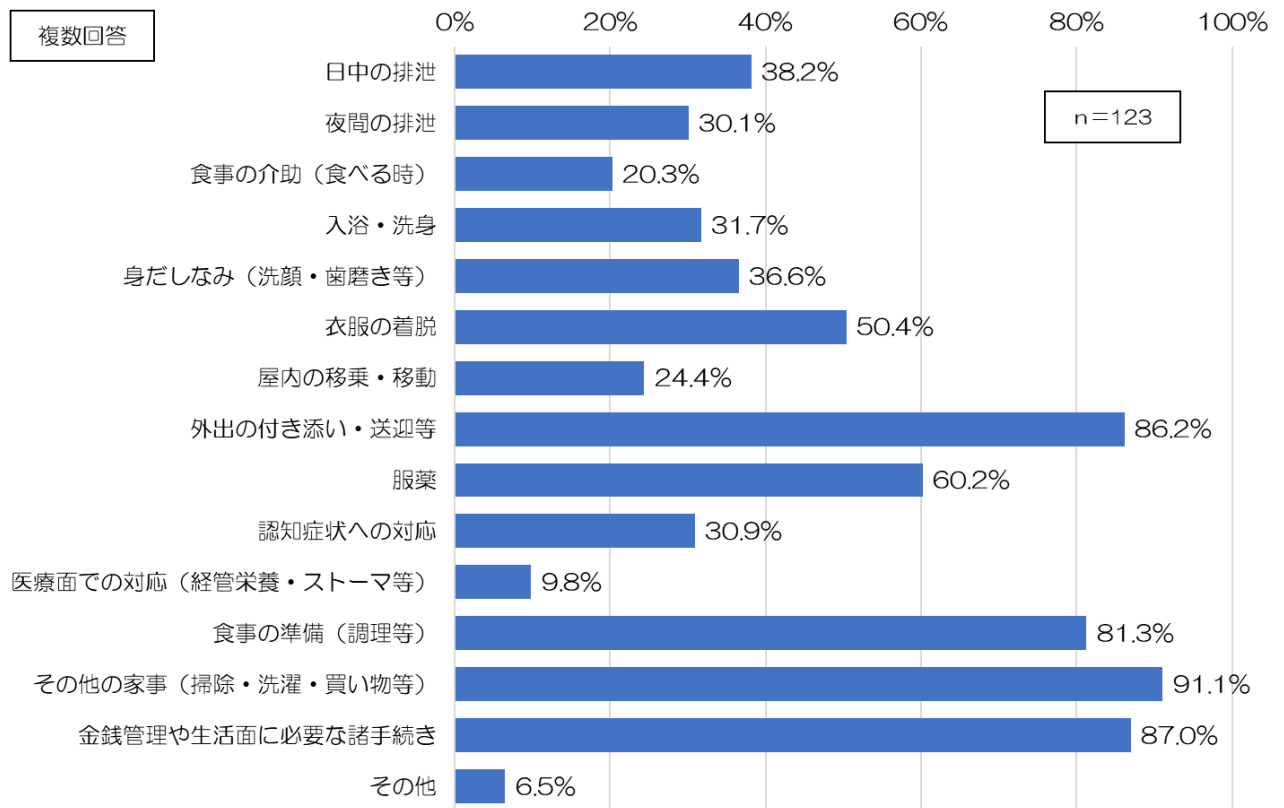
【認知症に関する窓口について】

相談窓口を知っている人は約3割



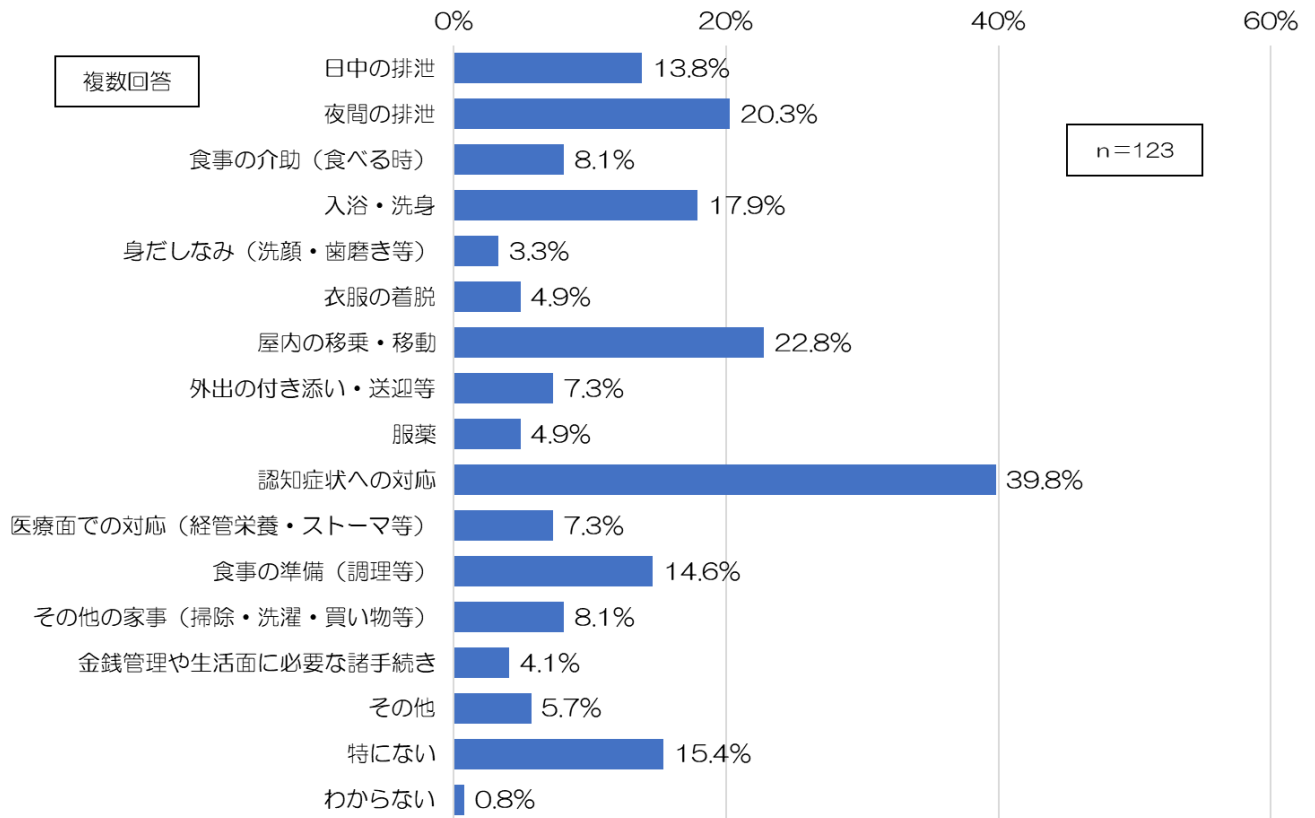
(2) 在宅介護実態調査

① 主な介護者が行っている介護



「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」の割合が最も高く 91.1%となっています。次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」87.0%、「外出の付き添い・送迎等」86.2%となっています。

② 主な介護者が不安に感じる介護



「認知症への対応」の割合が最も高く 39.8%となっています。次いで「屋内の移乗・移動」22.8%、「夜間の排泄」20.3%となっています。